

項目別評価において、S評価となっている各法人の事例

参考資料 2

I-1-(6) 防災行政への貢献

【NIED】

	評価	補助評価：(S)	(主務大臣評価において) 異なる評価に至った理由 ※評価が異なる場合のみ記載
自己評価	評価の根拠	<p>研究所の目的・業務、中長期目標等に照らし、研究所の活動による成果、取組等について諸事情を踏まえて総合的に勘案した結果、適正、効果的かつ効率的な業務運営の下で「研究開発成果の最大化」に向けて特に顕著な成果の創出や将来的な特別な成果の創出の期待等が認められるため、(S) 評価とする。</p>	
		<p>・特に顕著な成果として、平成30年に試行を開始した内閣府が設置する官民チーム「災害時情報集約支援チーム (ISUT)」の一員となり、大規模災害時における状況認識の統一に資するよう、府省庁連携防災情報共有システム (SIP4D) を活用しながら現地での情報収集・集約及び情報共有を行う活動を実施しただけでなく、平成30年7月豪雨では災害直後より被災地へ職員を順次派遣し、SIP4Dを用いて県の災害対策本部や災害対応機関 (地方自治体、自衛隊、消防等) のニーズに応じた情報共有支援を行い、広島市長より感謝状を頂いたことは高く評価できる。</p>	
		<p>・また、平成30年7月豪雨を始め、多くの自然災害が発生したことに伴い、全部で80件の災害調査等を実施した。それら調査結果を関係機関への資料を提出したことや現地対策本部等へ提供しただけでなく、一般に対してウェブサイトを開示したことは評価できる。</p>	
		<p>・多くの地方公共団体等に対しては、震動実験映像、eコミュニティ・プラットフォーム、MPレーダ情報等の情報提供を行ったことや地方公共団体や民間企業と協定を締結するなど、研究成果の普及と活用の促進がなされていることは高く評価できる。</p>	

※評価書には下記表の内容を転載 (評価書に転載する際、適宜公表しても差し支えない文言に修正可)

	評価	補助評価：(S)	
主務大臣評価	評価に至った理由	<p>以下に示すとおり、国立研究開発法人の中長期目標等に照らし、成果等について諸事情を踏まえて総合的に勘案した結果、特に顕著な成果の創出や将来的な特別な成果の創出の期待等が認められるため。</p>	
	評価すべき実績	<p>・内閣府の「災害時情報集約支援チーム (ISUT)」の一員として、大規模災害時における状況認識の共有に資するよう、府省庁連携防災情報共有システム (SIP4D) を活用しながら、西日本豪雨や北海道胆振東部地震、大阪北部の地震などで現地での情報収集・集約及び情報共有を行う活動を実施し、その活動が被災地の市長からも感謝状をいただくなど対外的に賞賛されたことは極めて高く評価できる。</p>	
	今後の課題・指摘事項	<p>・防災行政への貢献を通じて、研究開発法人らしい災害への知的貢献を期待したい。</p>	
	審議会及び部会からの意見	<p>・クライシスレスポンスサイトに関する評価指標が必要ではないか。</p>	